

基本施策 E 7 道路・交通の円滑化を図ります

主管課：土木企画課

個別施策

E7-1 良好な道路ネットワークを形成します

E7-2 公共交通の利便性や安全性

ア 施策の目的

市民が、道路や公共交通機関を安全で快適に利用している。

イ 基本施策の評価

C c 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
主要地点間の通勤時間帯の旅行時間 (野母崎～中央橋)	65分 (27年度)	↓	目標値	64.0	63.0	62.0	61.0	60.0	60.0
			実績値	65.0	60.0	58.0	54.0	56.0	59.0
			達成率	98.4%	104.8%	106.5%	111.5%	106.7%	101.7%
公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合(市民アンケート)※	79.0% (26年度)	↑	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
			実績値	76.7	74.3	77.2	74.0	71.6	72.1
			達成率	95.9%	92.9%	96.5%	92.5%	89.5%	90.1%
【補助代替指標】公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合(市民アンケート)	66.7% (28年度)	↑	目標値	/	67.0	67.0	67.0	67.0	67.0
			実績値	66.7	64.7	63.7	63.8	63.2	58.9
			達成率	/	96.6%	95.1%	95.2%	94.3%	87.9%

※ 市民意識調査有効回答のうち、日常の主な移動手段にバス、タクシー、路面電車、鉄道(JR)を利用すると回答した方のうち公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1) 9月23日に新幹線が開業するが、その時点ですべての駅前広場が供用開始になるわけではないため、当面の間、貸切バスの待機場が出島メッセのところになると思うが、現時点でもピーク時には駐車スペースが足りず、土日には渋滞が発生している状況である。短期的な話と、駅前広場ができた後、さらにスタジアムシティも含めた施設がすべて完成した後の浦上川沿いの渋滞対策をどうするかについて、交通量の抑制を含めてトータルで検討していただきたいと思う。